

イルサルトの考える至高の礼服

ベールに包まれていたこのイルサルトスペシャルの礼服を全て



1 最もアタマを悩ませた 生地選び

パーティで誰よりも引き立つ礼服を作るためにはよく使われるような生地は使えません。
今回使用したこの「ミッドナイトブルー」という色はスポットライトが当たった時だけ黒よりも目立つ色なんです。またスーパー150という非常に繊細な生地、綾織という光沢の出やすい織り方の生地を使うことにより、誰よりも引き立つ礼服を実現しました！
又もうひとつ最後まで悩んだのがこの襟の太さ、これはシヨールカラーと呼ばれる形なのですが一般的な太さのものでは普通になってしまいますのでこの太さを若干細くそしてシルク生地を使うことにより、「男性の色気」を印象付けています。



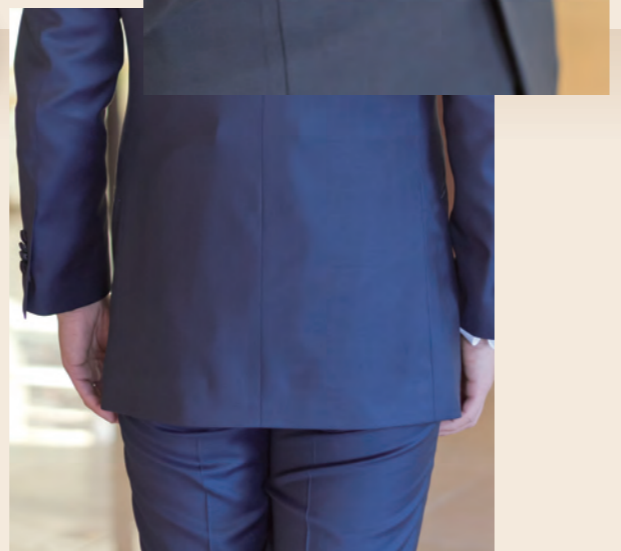
2 いわゆる「タキシード」っぽくしたくない

イルサルトのスーツは一般的なスーツに比べて腕が細いのですがこれは腕の細くするとバスト周りが強調され身体がたくましく見える効果があるんです。これはタキシードでも同様この太さを採用しました。
又肩のつけ方は「マニカカミーチャ」通称「シャツ袖」と呼ばれるタキシードではまず見られないつけ方をしています。スーツの命はこの肩のライン、この肩のつけ方をシャツ袖にすることで「タキシード臭さ」をなくしました。



3 目立たないよう目で立つ袖

袖の部分一個目のボタンホールを見てください。
袖には5個ボタンホールがあるので袖口先一個目のボタンホールだけ他のボタンホールとの長さによっているのが分かりますか？
このボタンホールは元々ボタンを留めない設定にしているボタンホールの糸もここだけ黒にすることでこのボタンを外した時に目立つようにしています。
ちなみに使っているのはパール×レザーのプレスレット。小振りなパールが上品な雰囲気ですごくお気に入りです！



4 立っている時に最も美しいノーベント

ジャケットの後ろの切れ込みをベント（ベント）と呼びますが基本的に立っていることが想定されるタキシードの場合は「立ち姿」「後姿」を最も美しく見せる必要があります。
こういったタキシードの場合は「ノーベント」。切れ込みが全く無いこういったノーベントは非常にドレッシィで「立ち姿」「後姿」を美しく見せてくれます。

5 印象を決めるフロントカット

ジャケットのフロントカット（前の裾）は印象を大きく左右します。
イルサルトで独自に開発したこのような外に逃げていくような形のフロントカットは、身体の線を矯正しラインをキレイに見せてくれる効果があります。



大公開！

6

脚のラインを最も美しくみせるラインの出し方

パンツのラインは非常に重要！
ジャケットがカンベキでもパンツのラインが美しくないと全て台無しです。
今回のパンツはイルサルト通常のパンツよりも膝の幅を0.5センチ細くしより脚がスッキリ見えるラインに仕上げました！



8

通常ついているものがありません！

今回のタキシードはシルエット重視で機能性無視して作りしました（笑）
ですので普通ついている腰ポケット、お尻のポケット、ベルトループ、そういったものを何もつけていません。
ついていると中に何かを入れてしまいうのでシルエットが崩れる！だったら最初から取ってしまおう！ということまで取りました！天皇家下のスーツもこれと同じ、お尻のポケットがついてないみたいですよ。

7

伝統的なパンチエリーナ

今回のタキシードはとにかく全てに妥協をしなくなかったので見えない部分にも手を抜いていません。
通常であればファスナーで留める前立ての部分も伝統的なボタンフライ、又パンチエリーナと呼ばれるコルセットの役割を果たすものをつけています。
これをつけることで下腹の納まりがしっかりとる上に腹の出っ張りを抑えられる隠し技になっています。



9

足元は黒のプレイントウを！

タキシードにはオペラパンプスやエナメルシューズを合わせる人が多いのですが敢えて黒のプレイントウを合わせました。
これもイルサルトオリジナルシューズですがマットな艶感の革を使うことにより非常にドレッシィな雰囲気仕上げました！



10

サスペンダーを使いましょう！

こういったタキシードにはベルトを使わず（ベルトループもないですが。）必ずサスペンダーを使うようにしてください！
そうすることで腰の部分も膨らまないでシルエットの美しさがキープ出来ますよ！

